



## 広報紙部会委員のひとこと



私が、この広報紙「まちづくり広場」に関わったのは、100号あたりからで、当時取り組んでいた「宮前区ガイドブック(改訂版)」の作成が終り、一段落したころでした。

当初は「～広場」の印刷・紙折機での折りたたみ・配布の仕分け・封筒詰めなどの手伝いで、そのうち、印刷から配布は業者が行うことになり、私は収集された原稿を「～広場」の形にするレイアウト作業と必要なイラストを描く担当になり、現在に至りました。

これらを通して見えてきたことは「～広場」作成に携わっている人は勿論、「宮前区まちづくり協議会」で活動している人たちは、みんな自分たちのまち「宮前区」が好きで、より楽しく、活気のある住みやすいまちにしようと、自分の特技や趣味を活かし、楽しみながら活動しているということでした。

自分の特技や趣味を、他人に喜ばれ感謝されるような場で活かしたい、と考えておられる方は「宮前区まちづくり協議会」で活動されるのも良いかも～ですよ。(S.A)

何のスキルもないまま広報紙部会に入り 20 数年、マウスのないパソコンで入力したことが懐かしいです。

担当する広報紙のレイアウトについて、かつて取り組み方に疑問を持ったことがありましたが、それを上手くまとめてくれた当時の広報紙部長のおかげで今日があります。

文章を作った人、写真を撮った人、見る人の立場で見やすいか、見て何を思い、考えるかを、集まった文章や写真と問答しながら配置を考えています。

写真が多数集まると大変でした。「選ばれたからって誇張し過ぎ」「もっと大きくして」…入らない。「端は嫌だな」…形が違うから。「一瞬で撮られた写真、思ってもいない好評価がつくよ」「他にないからって選ばれて来ちゃった」…文章と写真が合っていない。…この位置でいいかい? 「ここは居心地悪い」…まあ我慢して。こんな自分遊びで作業します。

これまで部員や地域振興課の皆さんの助けを頂き、楽しく取り組ませていただきありがとうございます。(K.E)



広報紙 10号から、広報紙部会の人不足で、四つの地域部会から各委員を出すことになり、部会の先輩から指名され入った私です。国語も苦手、文章を書くことなどもってのほかなのに、なぜか? 29年近くの時を過ごしてしまいました。

でもこの間多くの人にお目にかかれ、いろいろな活動グループの情報を記事にするため、活動団体の内容などを知ることができました。多種多様な社会経験をしてきた方々との交流によって人となり学ぶことの多い機会を得ることができました。ご一緒したお兄様方、お姉様方はいつも優しく私を気遣ってくださるなど、このお仕事をさせていただいたことは、私にとっての勲章かな? 現在は年齢的にも上の方になってしまったのには自分でもびっくり!! (A.H)

家から宮前平駅へ降りる坂道でのこと。「あら、こんにちは! お元気?」と華やかな声で女性から声をかけられました。家と会社を往復している頃はまったくありませんでしたが、勤めを辞めてから 20年「まちづくり協議会」広報紙の発行に携わって、地元で声をかけられることが多くなりました。心が温かくなるとともに、地域の人たちと交流ができ世界が広がったなと嬉しくなります。地域活動から得られたかけがいのない財産です。感謝! (K.S)

### まちづくり広場へのご意見・ご感想はこちらまで

(事務局) 宮前区役所地域振興課

電話 856-3125

F A X 856-3280

E-MAIL 69tisin@city.kawasaki.jp

HP アドレス <https://www.miyamae-machikyoo.com>



# 区民がつくる まちづくり広場

No.300  
特別号

編集・発行 宮前区まちづくり協議会

## 特集

## 300号を迎えて…その足跡を辿る…

まちづくり協議会の広報紙「まちづくり広場」が300号を迎えました。今から30年前、川崎市の基本構想に基づいた「2010プラン」で市民協働のまちづくりを進めるため、川崎市7区各々による「白書作り」が提案されました。宮前区では説明会に参加した市民から「白書は作ってそれだけで終わり。そのようなものに時間を割くなど滑稽。宮前区ではまちづくりのプランを作りそれを実現していきましょう」との意見がだされ、「宮前区区づくりプラン策定委員会」が1994年(平成6年)8月に発足しました。またその進捗状況を市民へ知らせるため広報紙発行を5人の編集委員で始め、名称は「まちづくり広場」とし、同年12月に初号が発行されました。

以後1995年(平成7年)2月から毎月発行、2017年からは隔月発行となりましたが、300号の今号までコロナ禍の6か月を除いて休むことなく発行してきました。“区民がつくる”ことを原則とし、紙面企画、取材、記事執筆、編集、紙面レイアウト、校正など広報紙部会の委員が行い、区役所や市民館などの公的施設での配架とともに町内会を通じて区民へ回覧されてきました。現在はカラー紙となり印刷は外部へ委託していますが当初は委員が区役所内の区民活動支援コーナーにある印刷機で印刷(黒白)を行い紙折機で折って、各町内会へ必要部数の発送作業もしていました。



「区づくりプラン策定委員会」が「区づくりプラン推進委員会」に変わるのを経て2005年(平成17年)「まちづくり協議会」となり、市民活動を“つなぐ”“むすぶ”“ひろげる”という中間支援組織としての役割になりました。これに応じて広報紙も、協議会の活動の案内/報告をするともに、市民団体の活動を紹介し広報面で支援してきました。

### 今号よりしばらく休刊いたします

前299号でお知らせしましたように、今春から「まちづくり協議会」の運営が変わります。それに合わせて広報紙部会も、“新しい革袋には新しい酒を”と、新しい体制のもと再発足するまでしばらく休刊いたします。いままでのご愛読を感謝するとともに、今後も引き続きご支援のほどお願いいたします。

### 今月号の主な内容

- 1面 ・特集：300号を迎えて…その足跡を辿る…
- 2面～3面 ・特集：まちづくり協議会&広報紙まちづくり広場の足跡
- 4面 ・広報紙部会委員のひとこと



※ イラストは、編集委員のA氏が過去に「まちづくり広場」用に作ったものの一部を文中の内容に合わせて再掲載したものです



# まちづくり協議会 & 広報紙まちづくり広場の足跡

【ひとくちメモ】

- まちづくり協議会：区を良くしようと活動しているボランティアの集まり
- 広報紙まちづくり広場：まちづくり協議会の活動をPR
- ※ 宮前区役所地域振興課がこれらの活動を支援・協力

1982 (S. 57)      1989 (S. 64/H. 元年)      2000 (H. 12)      2010 (H. 22)      2019 (H. 31/R. 元年)      2024 (R. 6)：現在

**宮前区**

- ▲ 宮前区誕生 (1982(S. 57). 7. 1) 高津区より分区
- 区の木「サクラ」、区の花「コスモス」
- 区のキャッチフレーズ 「人が好き・緑が好き・まちが好き」
- 区民活動支援コーナー発足 (区役所内) 2000年
- 宮前スポーツセンター誕生 2006年4月
- カップーク鷺沼 & カッチャん誕生 2006年4月
- アリーノ誕生 2009年5月
- 区制30周年 (2012年) 宮前兄妹 (メローとコスミン) 誕生
- 現在 区制 42 年目

区づくりプラン策定委員会 (1994 (H6) ~1997) → 区づくりプラン推進委員会 (1997 (H9) ~2005) → まちづくり協議会 (2005 (H17) ~ 現在)

**まちづくり協議会**

- ふる里さくら祭り (区を代表する春の祭りの1つになりました (ふる里さくら祭り実行委員会))
- まちづくり広場ラブみやまえ (まち協のPR・区民との交流の場として大きく育ってきました (ラブみやまえ実行委員会))
- 虹バス運行開始 (2002年3月) (区民発意のバス運行としては川崎市第1号です 運行路線は、宮前駅～区役所～宮崎台駅～虎の門病院分院です (交通専門部会))
- フォトコンテスト (区の生き生きとした姿を写真で切り取っています (フォトコンテスト部会))
- 宮前区を花いっぱい (まちづくり協議会「花とみどりの委員会」では秋に向けて二つの事業を実施します 第4回花苗提供 花壇作り募集) (花とみどりの部会)
- 農家巡りウォーキング (区民と農家を結びつける役目をはたしています (農あるまちづくり部会))
- まちをよく知るために名所、旧跡、地域の施設などを巡ります (まちづくりウォーキング部会)
- まちづくりウォーキング (まちづくりウォーキング部会)
- 区内で活動する市民活動団体に、活動資金の一部を支援しています (資金支援により多くの市民活動団体が生まれ、成長しました (資金支援部会))
- 防災ニュースを発行しました! (防災ニュース発行で区民の防災意識の向上に努めました (防災部会))
- まちづくり学級 (まちづくり学級として区民に役立つ講座を開いてきました (情報支援部門))
- ひとり暮らしの高齢者に役立つ情報を集めて冊子にしました (福祉部会)
- まち協のホームページ作成など、電子情報でまち協の活動をPRしています (情報支援部会)
- まち協ロゴ誕生 (2012. 2) 人と人のつながりの大切さを表現
- 今年度より新しく変わりました! ホームページ (まちづくり協議会のお知らせや各種申込用紙などがあります https://www.miyamae-machikyo.com/)
- Welcome Pack の配布など外国人市民の一助になるような活動をしています (Welcome 部会)
- 定期的に平瀬川を清掃し、アユの放流やコイが泳ぐ綺麗な川に保っています (平瀬川流域まちづくり協議会)

創刊号 (1994. 12)：黒白印刷 → 100号記念号 (2003. 10) → 紙面カラー化 (171号 (2009. 9)) → 200号記念特別号 (2012. 2) → 月刊から隔月・特集へ (258号 (2017. 1)) → 300号

**まちづくり広場**

- 創刊号
- 100号記念号
- カラー化第1号
- 200号記念特別号
- 宮前地名あれこれ 初山(はつやま) (183号~203号)
- みやまえ防災 Q&A vol.1 (195号~207号)
- 資金支援団体の活動状況を~ (171号~257号)
- 商店会の実態を~ (230号~239号)
- 中学校では今 (236号~243号)
- 戦争の遺跡を訪ねる② 今も残る東部62部隊の建物 (248号~257号)